



健康せきかわ21

いきいきライフ

健診スケジュール

5月	肺がん検診（胸部レントゲン） 特定健診 前立腺がん検診 肝炎ウイルス検診 同時開催
6月	婦人がん検診 （子宮頸がん・乳がん検診） 胃がん・大腸がん検診 成人歯科健診
7月	胃がん検診 大腸がん検診

仕事で休みがとれない方のために、胃がん・大腸がん検診は土曜日にも実施します。
また、7月9日（土）は村民会館で特定健診とあわせて肺がん検診・前立腺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診を実施します。

「昨年、健診を受診しましたか？」「忙しくて受けそこねた」「今は病院もかかっていないから受けない」など、受診されない理由はさまざまあるようです。
しかし、実際に健診を受診している方は、病院で診療を受けても異常の早期発見・早期治療ができ、健診を受診せず症状が出てから病院で診療を受ける方より医療費も半分の程度で済んでいます。
健診は自覚症状がなく進行する『生活習慣病』を見つけるよい機会です。あなた自身・家族のため、又は医療費抑制のために毎年一度健診を受診するようお願いいたします。
健診日程の詳細は「広報せきかわお知らせ版五月一日号」をご覧ください。

健診を受けて健やかでいざいざした

生活を過ぐくませんか？

ゼロ むし歯0の子に ぴっかぴっか賞

3月8日に行われた3歳児健診で、むし歯が1本もなかった子どもたちに「ぴっかぴっか賞」が贈られました。（順不同・敬称略）

- ▷川崎ティエラ緑（鮎谷）
- ▷高橋 みち路（高瀬）
- ▷渡邊 はる陽斗（上関）
- ▷下村 おん鯉音（小見）



『お口の健康チェック』は 今年も特定健診会場で実施します！

昨年、実施した歯のアンケートから、一日二回以上の歯みがきをする方や歯間部清掃用具（デンタルフロス・歯間ブラシ）を使用している方は歯の本数が多い（二十八本以上）という結果が出ています。しかし「歯の手入れをしても歯周病になってしまっ」

という方もいます。お口の健康が気になる方、特定健診会場では『お口の健康チェック』も行っていますのでぜひご利用ください。

問い合わせ先

住民福祉課 保健師
☎六四一―一四七二

障がいに関する相談は「相談支援事業所」へ

相談支援事業所は、障がいのある方や家族からの相談に応じて、情報提供、福祉サービスの提供及び利用支援、関係機関との調整を行う窓口です。

お気軽にご相談ください。

● 浦田の里在宅者支援窓口

対象：身体障がい、知的障がい、障がい児
住所：村上市岩船231-1
電話：53-3673
受付日時：月～金曜日 午前9時～午後5時

● 地域生活支援センターはまなす

対象：身体障がい、知的障がい、精神障がい、障がい児
住所：村上市瀬波中町10-1
電話：50-7104
受付日時：金・土曜日を除く毎日
午前9時～午後5時

障がい福祉のむらづくりを目指して

村では、障がいのある人もない人も共に過ごせる暮らしやすいむらづくりを目指して、「村上・岩船地域自立支援協議会」を設置しています。

「村上・岩船地域自立支援協議会」とは...

昨年度、関川村・村上市・粟島浦村で広域的な範囲で問題の解決を図る「村上・岩船地域自立支援協議会」を設立しました。

協議会では、就労支援部会・暮らし部会・こども部会の三つの専門部会を立ち上げ、地域の課題などを話し合い解決を図っています。



健康講座

77

子供の頃によく

井戸水を飲みましたか？

県立坂町病院 姉崎 一弥

皆さんは「ピロリ菌」と言う名前を聞いたことがありますか？

ピロリ菌の正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ」と言います。一九八三年に発見されるまで正体不明の謎が多い細菌でした。「ヘリコ」とはギリシャ語でらせんという意味を持ちますが、これはピロリ菌が二、三回ねじれたらせん形状をしているためです。

ヘリコに続く「バクター」は細菌のことです。また、「ピロリ」とはピロリ菌が胃の出口に近い幽門部のことを指すピロルスで多く発見されることから名付けられました。つまり胃の出口近くにいらっしゃる状態の細菌であることから、ヘリコバクター・ピロリと呼ばれています。

ピロリ菌は胃の中に好んで

住みつき、自らが住みやすい環境を作り出して生息しますが、まだ免疫力が弱い五歳くらいまでの子供の頃に感染します。

ピロリ菌に一度感染すると、除菌しない限りほぼ一生感染が続きます。食べ物や飲み物から感染しやすいと考えられていて、基本的には口から侵入する経口感染です。また、上下水道の普及が乏しく衛生状態の悪い地域ではピロリ菌に感染する確率が高いことが判明しています。

現在、日本人の約五十%以上がピロリ菌に感染しているとの調査結果があります。世界中でこの菌の保菌者は増えていて、発展途上国では感染率が高く、先進国では感染率が低い傾向があります。現在の日本の水道環境は安全です

が、井戸水や湧き水の衛生環境には不安を感じます。

ピロリ菌に感染すると胃に悪影響を及ぼし、ほぼ全員が慢性胃炎となり、次に胃壁が薄くなる萎縮性胃炎となります。この萎縮性胃炎が進むほど胃がん発生の危険が増します。また、他に胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃リンパ腫の発生にもつながることが明らかになっています。しかし、発病するのは保菌者の三割程度であり、残りの七割の人は感染しながらも発病しない健康保菌者です。

現在保険治療で除菌ができるのは一部の病気だけですが、平成二十一年一月に日本ヘリコバクター学会は、胃がん予防のためピロリ菌保菌者には除菌を勧めるという指針を発表しました。ピロリ菌感染の有無を調べる方法は色々あります。

子供の頃に井戸水や湧き水を飲んだ経験があり、日頃胃の調子が悪い方はこれを契機に一度医師へ相談されてみてはいかがでしょうか。

*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。

☎六二―三一一